

## 前期実施計画(平成 26 年度～平成 30 年度)

※抜粋：「県立高等学校再編振興計画」(平成 26 年 10 月 高知県教育委員会) 「前期実施計画」(18～19 ページ)

### (1) 高知南中学校・高等学校と高知西高等学校との統合について

(スケジュール)

高知南中学校・高等学校と高知西高等学校とを統合し、新たな中高一貫教育校を、高知西高等学校の敷地に設置する。

〔実施年度〕 ○新たな中高一貫教育校の併設中学校の設置	平成 30 年度
○新たな中高一貫教育校の併設高等学校にグローバル教育科を設置	平成 33 年度
○高知南中学校・高等学校の募集停止	平成 33 年度
○統合完了	平成 35 年度

#### ア 統合に向けた考え方

高知市及びその周辺地域においては、一定の生徒数の確保が見込まれる一方で生徒数の減少も予想されており、それに伴い学校規模が縮小していけば、学校の活力が低下していくことが考えられる。将来の子どもたちのために、今後も充実した教育活動を維持していくためには、一律に各学校の学級数を削減していくのではなく、高知市内の学校で統合を行い、まとまった定員削減を行うことで、6学級以上の活気ある学校を維持することが必要である。

また、社会や経済の急速なグローバル化に伴い、高度な英語運用能力とともに、論理的思考力や課題解決能力、コミュニケーション能力などが備わった人材育成が必要とされている。

さらに、高知南中学校・高等学校周辺は、津波によって長期浸水が予想されている地域であり、高知港に近接していることもあり、他の高等学校よりリスクが高いことや被災後の早期の学校再開が困難となることが想定されている。

これらのことを踏まえ、国際理解教育を中高一貫教育で取り組んできた高知南中学校・高等学校と、英語科を中心に語学教育に力を注いできた高知西高等学校とを統合し、新たな中高一貫教育校を高知西高等学校の敷地に設置することにより、今後も続く生徒数の減少に対応するとともに、グローバル人材の育成に向けた教育活動の充実や震災に強い教育環境の整備を図る。

#### イ 目指す姿

新たな中高一貫教育校は、時代を担うグローバル人材の育成を目指し、大学進学に向けたより豊かな学力の定着を図るとともに、国際バカロレアの認定に向けた教育にも取り組むなど、高度な英語運用能力や論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力の育成にも重点的に取り組む。そのことにより、本県におけるグローバル教育のトップ校かつ大学進学の拠点校を目指す。

#### ウ 統合の方法

統合にあたっては、平成 30 年度に新たな中高一貫教育校に移行し、併設中学校を開校する。平成 30 年度から平成 32 年度の高知南中学校の入学生は、入学定員を削減し、学力の定着状況等を確認したうえで、基本的に新たな中高一貫教育校の併設高等学校の普通科に入学する。平成 33 年度から高知南中学校・高等学校は募集停止とし、新たな中高一貫教育校の併設高等学校には、平成 33 年度から英語科に替えてグローバル教育科を置き、その中にグローバルコース及び国際バカロレアコースを設ける。

また、統合後の新たな中高一貫教育校の校名等の取扱については、両校の学校関係者の意見とともに県民の意見も聴取しながら、平成 28 年度末までに県教育委員会で検討し、決定する。

#### エ 教育環境の充実

新たな中高一貫教育校への統合を円滑に進めるため、探究型教育や語学教育を中心に高知南中学校・高等学校と高知西高等学校の教育内容の充実を図る。特に平成 33 年度から募集停止となり、その後、2年間にわたって下級生のいない年度が続く高知南中学校・高等学校については、教育センターと密接に連携して、充実した教育環境を整えることにより、これまで以上の志願者を確保できるよう努める。

新たな中高一貫教育校については、中高の連携に配慮した校舎及びグラウンドの整備等を行う。